

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0874000219		
法人名	社会福祉法人 青洲会		
事業所名	グループホーム どんぐり荘		
所在地	茨城県つくばみらい市狸穴1072-46 (電話) 0297-47-2012		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年2月19日	評価確定日	平成21年6月12日

【情報提供票より】 (平成21年1月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月23日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 8人, 非常勤 6人, 常勤換算 9.9人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	1 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	33,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要(平成21年1月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	3	要介護2	1
要介護3	10	要介護4	3
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 83.9 歳	最低 71 歳	最高 100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人慶友会 守谷慶友病院、伊奈クリニック
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

設置法人が福祉施設を運営しており、法人内の研修や同業者との交流を積極的に行い、人材育成に努めている。  
 保育園児との交流やボランティアの受け入れなど地域の人々との交流に努めている。  
 21年度はAEDを導入するとともに地域の人々にも呼びかけ講習会を開催し、緊急時に対応できる取り組みを計画している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価の結果を職員に周知し、利用者が安心して生活ができるよう改善に努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者と職員は自己評価結果を踏まえ、月1回の会議や日々の申し送り時に話し合いサービスの質の向上に活かしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は利用者の家族、民生委員、市職員で2ヶ月毎に開催しているが、会議に自治会の代表の参加を働きかけることが望まれる。 会議ではホームの取り組みを報告するとともに参加者の意見や要望を話し合いサービスの質の向上に活かしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の面会時に利用者の健康状態や暮らしぶりを報告するほか、利用請求書とともに事業所だよりや出納簿の写しを同封し報告している。 運営推進会議や面会時に家族等の意見を聴くとともに、重要事項説明書にホームの苦情相談受付窓口や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 隣接する保育園の園児と交流したり、地域の納涼祭や餅つき大会などに会場を提供し利用者も参加するなど地域と交流している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根ざしたグループホームであることを目標とし、利用者の人格を尊重し自立に向けその人らしい生活を提供する理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者や職員が理念を共有し日々の支援のなかで実践している。 問題が生じた場合は理念に立ち返り支援している。		
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接する保育園の園児と交流したり、地域の納涼祭や餅つき大会などに会場を提供し利用参加するなど地域と交流している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と職員は自己評価結果を踏まえ、月1回の会議や日々の申し送り時で話し合いサービスの質の向上に活かしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は利用者の家族、民生委員、市職員で2ヶ月毎に開催している。 会議ではホームの取り組みを報告するとともに、参加者の意見や要望を話し合いサービスの質の向上に活かしている。	○	自治会の代表にも会議への参加を働きかけることが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	平成20年12月に小規模多機能型居宅介護施設が開設されたこともあり、市とは密に連絡を取り合っている。 市が実施した認知症サポーター養成講座では、職員が認知症アドバイザーとして講義をしている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に利用者の健康状態や暮らしぶりを報告するほか、利用請求書とともに事業所だよりや出納簿の写しを同封し報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や面会時に家族等の意見を聴くとともに、重要事項説明書にホームの苦情相談受付窓口や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は離職を最小限に抑えるための努力や工夫をし、利用者が安定した生活が続けられるよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は人事考課・能力効果制度を導入し人材育成に努めている。 職員は自分の目標を定め、法人内外の研修を受けることにより技術の向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症介護研究・研修東京センターの講師を招いて市内の同業者と研修を実施している。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に利用者や家族にホームを見学してもらい職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は共に暮らしていくなかで、できることを担ってもらったり教えてもらいながら支えあう関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者の生活リズムや生活歴を把握するとともに、自己決定や選択の機会をつくり利用者の意向を確認しながら、一人ひとりのペースに合わせて支援をしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は利用者や家族、職員で話し合い具体的な目標を設定して作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に見直しをするとともに、状況に変化があった場合は利用者や家族、職員で話し合い状態に即した介護計画に見直している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同敷地内に設置しているデイサービスと連携を図り、利用前にデイサービスを利用して利用後にもデイサービスを訪問し精神の安定を図るなど柔軟に支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医師が往診するとともに、利用者や家族が希望する医療機関に受診できるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については利用契約時に看取りの指針を説明している。 容体に変化が生じた場合は家族やかかりつけ医、看護師、ホーム職員で話し合い共通の認識のもと看取りを行う体制になっている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は日常生活で利用者のプライバシーを損ねないように、言葉使いや態度など接遇に気を付けている。 利用契約時に「個人情報の使用承諾書」に同意を得てから関係機関等に情報を提供している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アセスメントを基に利用者の好みや過ごし方を把握し、一人ひとりのペースに合わせて趣味や買い物、散歩、外出などを支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者と一緒に献立を決めたり食材を買いに行くなど、利用者の意見を反映した食事を作っている。 職員も食卓を囲み、利用者と一緒に食事をしたり後片付けをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を決めないことや入浴剤を使用するなど利用者の希望にそって入浴を支援している。 時には同敷地内のデイサービスの大浴場を利用し入浴を楽しめるよう支援している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者一人ひとりの生活歴や特技を活かし、調理の手伝いや野菜作り、掃除などの役割を担ってもらい生活が楽しめるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員は利用者一人ひとりの希望にそって自由に買い物や外出ができるよう支援している。 家族と一緒に外出する場合でも職員が付き添う場合がある。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由に中庭に出られるようになっている。 職員は外出しようとしている利用者を止めることはせず、行動を共にして支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力を得ながら防災訓練や避難訓練を実施している。	○	災害時には地域の人々の協力が必要であることから、運営推進会議などで防災訓練への参加を呼びかけ、協力体制をつくることを期待する。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事や水分の摂取量を記録し、職員が栄養状態を把握している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間である居間からは中庭が見え、小鳥の餌台に鳥が寄るなど心安らぐ場となっている。 居室や玄関は天窓から光を取り入れ自然で落ち着いた雰囲気をつくっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全居室畳敷きで、利用者は使い慣れた家具を持ち込み、ベッドや布団など一人ひとりの希望にあわせて使用している。 家族等が居室で宿泊できるようになっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。